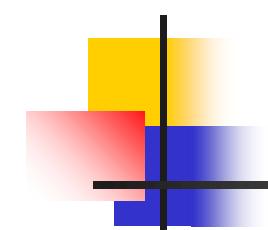


令和7年度

練馬区災害時医療事業 活動報告



医療救護所訓練の実施

以下のとおり、区内医療救護所（全10か所）のうち、2か所で医療救護所訓練を実施した。

実施日時	会場	参加人数	訓練内容
11月9日（日） 9時～12時	大泉西中学校 医療救護所	84名 (見学含む)	医療救護所設備見学 机上訓練 医療救護活動訓練 <ul style="list-style-type: none">・トリアージ・重症者処置・患者搬送
12月7日（日） 9時～12時	貫井中学校 医療救護所	65名 (見学含む)	医療救護所本部訓練等

医療救護所訓練の実施（当日の様子）



▲救護所設備見学



▲机上開設訓練



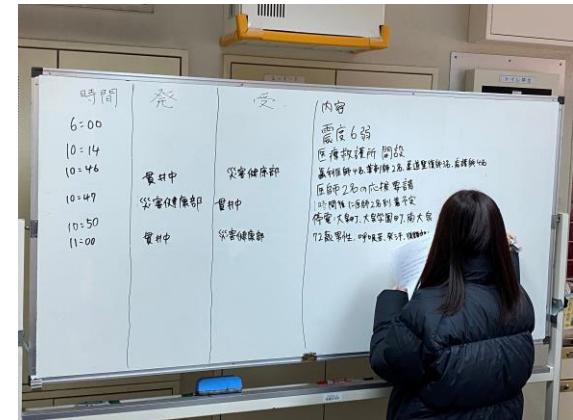
▲トリアージ訓練



▲重症者処置訓練



▲患者搬送訓練



▲救護所本部訓練

実施報告書（区ホームページ等掲載）

令和7年度 医療救護所訓練 実施報告書

● 概要

実施日時	会場	講師	参加人数	訓練内容
11月9日(日) 9時～12時	大泉西中学校 医療救護所	順天堂大学 医学部附属 練馬病院	84名 (見学含む)	・救護所設備見学 ・机上訓練 ・医療救護活動訓練 (トリアージ、 重症者処置、搬送)
12月7日(日) 9時～12時	貫井中学校 医療救護所	練馬光が丘病院	65名 (見学含む)	・医療救護所本部訓練 ・トランシーバー通信訓練

● 訓練の様子（一部）

※裏面にも写真掲載あり

救護所設備見学
医療救護所開設時に実際に使用する部屋や倉庫の場所、傷病者の動向等について、区職員の案内による見学ツアーや実習を実施しました。

机上訓練
講師から示された被害想定をもとに医療救護所での役割分担、開設までの流れ等を経て話し合いや机上訓練を実施しました。限られた人員で、医療救援所の運営方針を検討するなど、本番を想定した具体的な議論を行いました。

医療救護活動訓練
医療救護活動において特に重要な①トリアージ②重症者処置③搬送について、災害拠点病院の医師等から実技を中心とした講義を受けました。通常の診療とは異なる災害時ならばの臨機応変な対応について学習しました。

● 参加者の声（抜粋）

前回（令和6年）の訓練よりも、内容が多く含まれ良かったと思います。

大変勉強になりました。実際に中学校で訓練できたことで色々なイメージが湧いて良かったです。

指導系統動線の確保や日頃からの訓練が必要を感じました。

発災時に、いかに多くの医療従事者、区職員等が集まるのかが重要だと感じました。

主催者からのメッセージ

今年度の訓練にも多く方にご参加をいただき御礼申し上げます。
訓練を通じて、医療救護所運営への理解を深めていただく一助となりましたら幸いです。講義で説明がありましたが、医療救護所運営は、皆さんのご協力なしでは立ちません。今後も練馬区の医療救援活動へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和8年度の訓練予定

令和8年度訓練の実施時期等は現在調整となります。詳細につきましては、決定次第、各師会事務局を通じてご案内します。
※登録看護師の方々には、区から直接ご案内します。

当該訓練は、練馬区の医療救護所運営に関する訓練であり、訓練の実施場所は練馬区の施設であることを確認して下さい。

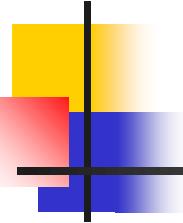


令和7年度 医療救護所訓練 活動記録



▲裏面

担当：練馬区地域医療管理係 問合せ：☎ 03-5984-4673 E-mail: IRYOSHISETSU@city.Nerima.Tokyo.jp



情報通信訓練の実施

以下のとおり、災害時医療機関や協定団体を対象に、災害時に活用する連絡手段を用いた通信訓練を実施する。

■衛星携帯電話定期通信訓練

- ・対象 災害拠点病院、災害拠点連携医療機関、専門医療拠点病院、医師会
- ・回数 各団体で年2回

■LINE WORKS訓練

- ・対象 LINE WORKSに登録済みの災害時医療機関、協定団体
- ・回数 各団体で年2回

■情報共有訓練

- ・対象 LINE WORKSに未登録の災害時医療機関、協定団体
- ・回数 各団体で年2回
- ・訓練内容 LINE WORKS訓練の内容をメールやFAXにて回答

【新規事業】

安否確認システムの導入

医療救護所に参集する医療従事者向けの安否確認システムを令和7年9月より導入した。

■目的

- ・利用目的（安否・参集可否確認）に適したシステムの導入
- ・利用率および情報伝達率の向上

■対象

約400名程度

（四師会医療従事者、登録看護師）

■訓練

年2回の模擬回答訓練を実施



▲安否確認システムの画面

看護師向け災害医療講習会の実施

医療救護所登録スタッフを中心とした看護師に対し、災害時医療に関する講習会を実施した。

■目的

災害時医療や救急医療の知識、経験が不足している
看護師の対応力向上

■研修日時・参加人数

令和7年10月5日（日）13時30分～16時30分
25名

■講師

順天堂大学医学部附属練馬病院（医師、看護師など）

■主な講習内容

災害時医療の基礎講義、避難所における看護師の役割、
トリアージ・トランシーバー実習 など



▲トリアージタグ記入訓練



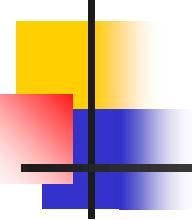
▲トランシーバー通信実習



医療救護所用品の追加・更新

医療救護所訓練や災害医療に関する会議体での指摘等を踏まえて、医療救護所用品を追加・更新する。

用品名	追加・更新時期	課題
トランシーバー 【新規追加】	令和8年2月頃	<ul style="list-style-type: none">・医療救護所内での連絡手段がない ⇒救護所本部や各医療救護活動エリアのリーダー分の台数を購入
備蓄医薬品用 保冷庫 【更新】	令和8年2月頃	<ul style="list-style-type: none">・夏の高温は室温保管している医薬品の品質に影響を及ぼす懸念がある ⇒温度管理を徹底するため、現行の保冷庫の約2倍の容積のものに更新



区市町村災害医療確保計画(基礎資料)

■主な変更点

II 医療機関

(3) 災害時医療支援病院

・病院数の増 16か所 ⇒ 18か所

IV 緊急医療救護所・避難所医療救護所・避難所

二次避難所（福祉避難所）数等

・福祉避難所数の増 49か所 ⇒ 59か所